SONY

4-258-410-**01** (1)

バッテリービデオライト
Battery Video Light
Lampe vidéo à batterie
电池摄像灯

取扱説明書 / Operating Instructions / Mode d'emploi/
使用说明书



お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

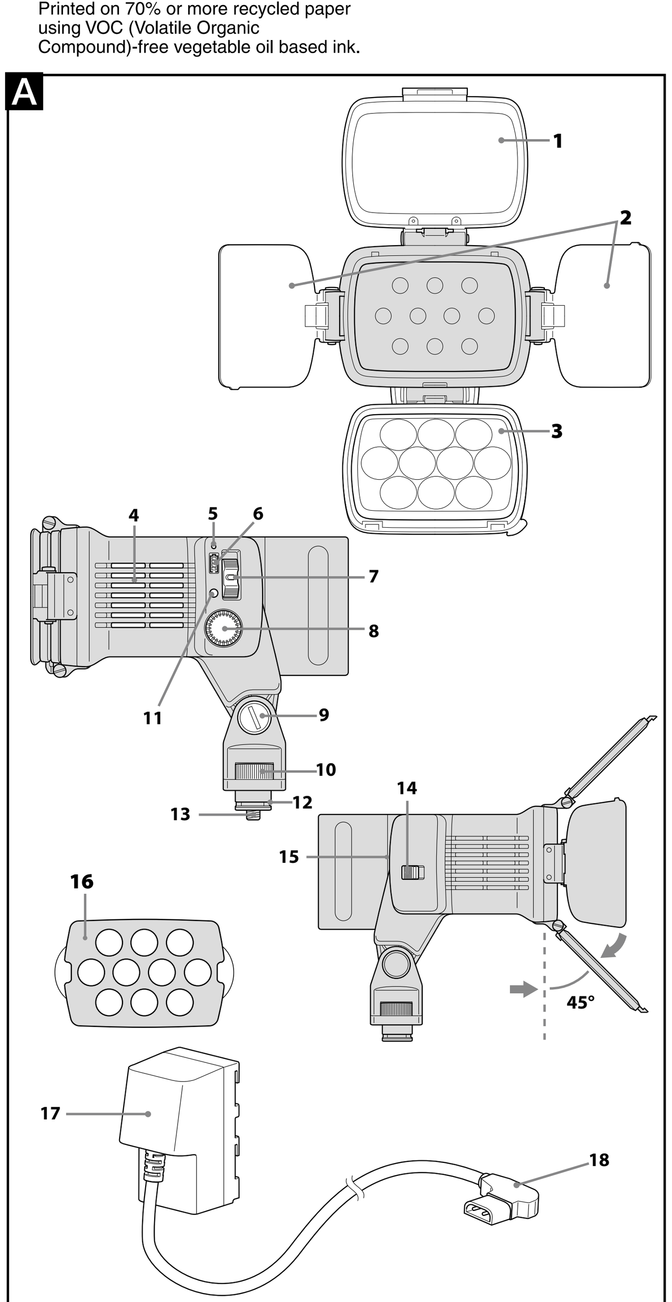
HVL-LBPB

InfoLITHIUM™ L SERIES

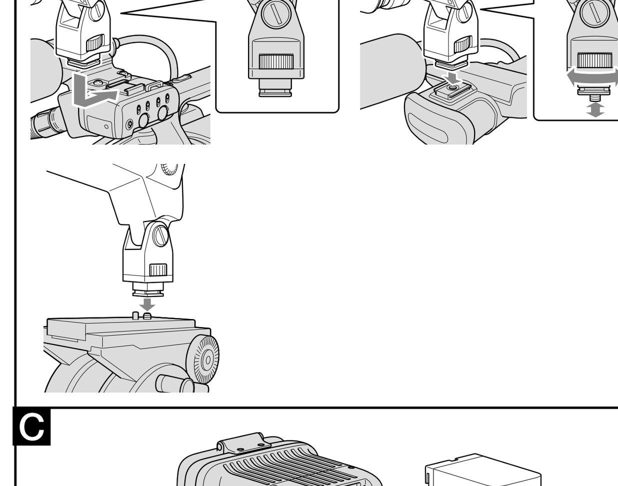
http://www.sony.net/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed on 70% or more recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.

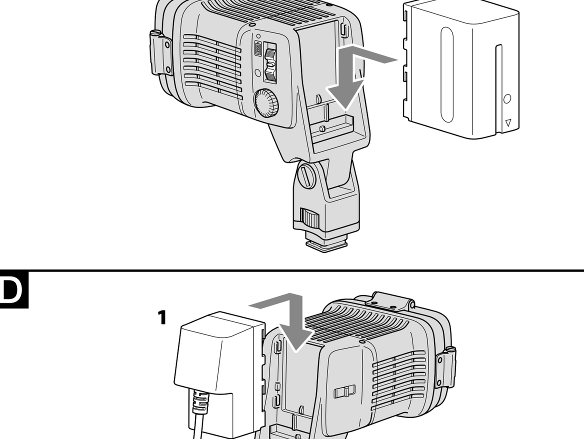
A



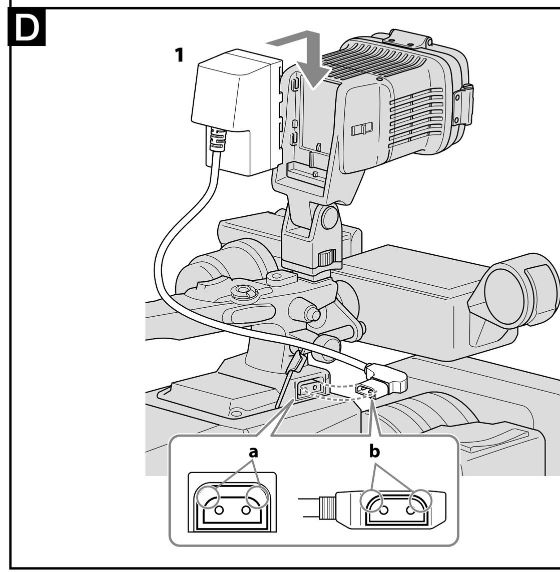
B



C



D



E

F

G

日本語

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ご購入いただいた特約店、またはソニー業務用商品相談窓口に修理を依頼する**
- **万一、異常が起きたら**

変な音やにおい、煙が出た場合は → ❶ **電源を切る** ❷ **バッテリーやLIGHT端子アダプターをはずす** ❸ **ご購入いただいた特約店、またはソニー業務用商品相談窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味
取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号
火災　感電	禁止　接触禁止　分解禁止

⚠警告 火災 感電 **下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

点灯したまま放置しない
火災の原因となります。使用しないときは必ずPOWERスイッチを「OFF」にしてください。（禁止）

点灯中はむやみにさわらない
ビデオライトの放熱孔およびその周辺やLIGHT端子アダプターなどは非常に高温になるのでやけどのおそれがあります。（接触禁止）

バッテリーを取り付けたままケースなどに収納しない
万一誤ってスイッチが「ON」になると、発煙、発火の原因となることがあります。本体が充分に冷えてから収納してください。（禁止）

放熱孔をふさがない
内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。（禁止）

放熱孔から内部に金属の棒などを差し込まない
そのまま使用すると、火災や事故、故障の原因となります。（禁止）

紙や布などの燃えやすいものを近付けない
火災の原因となります。（禁止）

集光レンズに太陽光等を当てたまま放置しない
焦点距離で発煙発火のおそれがあり、火災の原因となります。（禁止）

集光レンズを通して直接太陽を覗かない
目をいためたり、失明の原因となることがあります。（禁止）

湿気やほこりの多い場所では使わない
感電や火災の原因となることがあります。（禁止）

アルコールやベンジンなど揮発性、引火性の高い薬品を近付けたりライトの近くに置いたりしない
発火、発煙のおそれがあります。（禁止）

分解や改造をしない
火災や感電の原因となります。
内部の点検などはご購入いただいた特約店、またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。（分解禁止）

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさない
そのまま使用すると、火災や事故、故障の原因となります。（禁止）

⚠注意 **下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

点灯中はランプを直接見ない
強力な光は目をいためるおそれがあります。（禁止）

⚠危険 **バッテリーについての安全上のご注意**
漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

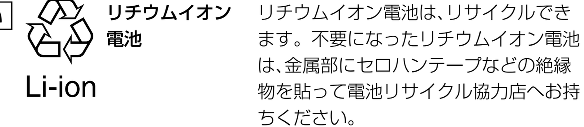
⚠危険
- 火の中に入れないでください。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。

⚠警告
- 指定された種類のバッテリーを使用してください。
- バッテリー交換の場合は電源を切り、数分待ってから取り出してください。バッテリーによっては、発熱する場合があります。取り出す際はご注意ください。
- 金属に触れ、⊕、⊖がショートすると発熱、発火する危険があります。

⚠注意
- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- バッテリーを使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 本機のバッテリー取り付け部は時々乾いた布などで汚れを拭き取ってください。
  電極やバッテリー端子部に皮脂などの汚れがあると、動作時間が極端に短くなることがあります。

もしバッテリーの液が漏れたときは、本機のバッテリー取り付け部内の漏れた液をよくふきとってから、新しいバッテリーを入れてください。万一、液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

お願い



リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁物を貼って電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人JBRCホームページhttp://www.jbrc.net/hp/contents/index.htmlを参照してください。

主な特長

- 集光レンズ使用時、中心照度約1,800 luxの明るさを実現しました。(距離1 mの場合)
- 本機は、レンズ光源に高輝度白色LEDを使用したビデオライトです。
- 5,500 K, 3,200 K(付属の色温度変換フィルター使用) 2種類の色温度を設定できます。
- 白色LEDは約10,000時間と寿命が長く、耐衝撃性や耐候性が優れているため、メンテナンスの必要がほとんどありません。
- LIGHT端子のあるカメラから電源を供給できるLIGHT端子アダプターを同梱しており、専用のバッテリーを用意する必要がありません。(LIGHT端子アダプターは対応するカメラでのみお使いになれます。LIGHT端子に関して詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。)

取り扱い上のご注意

- 本機は、防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- 本機は精密機械です。落としたり、たたいたり、強い衝撃をあたえないでください。
- 本機をインテリジェントアクセサリーシュー搭載のカメラに取り付けないでください。アクセサリーシューが破損することがあります。
- 本機の使用温度範囲は0 ℃～40 ℃です。
- 放熱孔をふさがないでください。内部の温度が上がり、火災や事故、故障の原因となります。
- 点灯中は白色LEDを近距離で直接見ないようにしてください。目をいためるおそれがあります。
- 落下防止のため、カメラに取り付けたまま本機をもって持ち運ばないでください。
- LIGHT端子アダプターは本機専用です。他の機器に使用すると故障の原因となります。
- アルコールやベンジンなどの揮発性、引火性の高い薬品を近づけたり、本機の近くに置かないでください。発火・発煙のおそれがあります。
- 内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさないでください。そのまま使用すると、火災や火事、故障の原因となります。
- 使用中、保管中にかかわらず次のような場所には置かないでください。故障や変形の原因となります。
  – 炎天下や、夏場の窓を閉めきった自動車内のように異常に高温になる場所
  – 直射日光の近く、熱器具の近く
  – 激しい振動のある場所
- 寒いところや周囲が高温の場合、バッテリーを使用できる時間が短くなるため連続照射時間が短くなります。バッテリーの機能が低下するためです。より長い時間ご使用いただくために、寒いところ(10 ℃以下)で使用するときは次のことをおすすめします。
  – バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前に本機に取り付ける。
    カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。
  – 充電は室温(10 ℃～30 ℃)で行う。
- 使い終わったらPOWERスイッチを必ず「OFF」にしてください。
- 使用しないときや使い終わったときは、必ずバッテリーを取りはずしてください。
- 使用後、すぐにケースなどに収納しないでください。発熱で白色LEDが破損することがあります。ケースに収納する場合は、本機の電源が「OFF」になっていること、本機が充分に冷えていることを確認してください。
- 集光レンズに太陽光等を当てたままにしないでください。集光レンズを閉じたまま直射日光に当てると故障の原因となり、集光レンズを開いた状態で直射日光に当てると、レンズの焦点付近で発火のおそれがあります。
- 本機をカメラ本体に装着した状態で撮影すると、記録される音声に若干の影響を与えることがあります。
- カメラや他の機器に装着した状態で、強い力や衝撃を与えないでください。

A 各部のなまえ

HVL-LBPB本体
1 ディフューザー
2 保護板
3 集光レンズ
4 放熱孔
5 TEMPランプ
6 バッテリー残量ランプ
7 POWERスイッチ
8 BRIGHTダイヤル
9 照射角度調節ネジ(コインネジ)
10 固定ツマミ
11 バッテリーチェックボタン
12 シュー取り付け部
13 ネジ
14 バッテリーリリースボタン
15 バッテリー取り付け部

16 色温度変換フィルター

LIGHT端子アダプター
17 本体側アタッチメント
18 プラグ

ランプ表示について

バッテリー残量ランプ
本機に直接取り付けたバッテリーのおおよその残量を表示します。POWERスイッチをONにしてから、またはバッテリーチェックボタンを押してから、約8秒後に残量を表示します。

(4灯)	約75%以上
(3灯)	約75%～50%
(2灯)	約50%～25%
(1灯)	約25%～5%
(点滅)	約5%未満

- **バッテリーの残量が少なくなったとき**
  バッテリーがなくなる約3分前から、バッテリー残量ランプ が緑色で遅い点滅をします。
  バッテリーは使用頻度、使用環境温度によって、使用可能時間が異なります。バッテリー残量ランプの点滅表示は目安ですので、早めのバッテリー交換をおすすめします。
- **バッテリーの残量がなくなったとき**
  バッテリーの残量がなくなると、ライトが消えて、バッテリー残量ランプ が緑色で約10秒間早い点滅をします。
  POWER スイッチをOFFにしてバッテリーを充電する、もしくは充分充電されたバッテリーに交換してください。
- **バッテリー通信エラーが生じたとき**
  ソニー製"インフォリチウム"バッテリー Lシリーズ以外のバッテリーが挿入されたとき、バッテリー通信エラーとして認識され、バッテリー残量チェック終了後、約10秒間バッテリー残量ランプ が点滅します。

ご注意
- LIGHT端子アダプターやソニー製"インフォリチウム"バッテリー Lシリーズ(NP－F970/F770)以外のバッテリーを本機に取り付けた場合、バッテリー残量は正しく表示されません。
- 充放電を繰り返して容量の少なくなったバッテリーを使用した場合、バッテリー残量表示が実際の残量と合わなくなることがあります。
- 本機ではバッテリーを充電できません。

TEMP ランプ
本機の温度が何らかの理由で熱くなりすぎたとき、安全のためライトが消灯し、TEMPランプが赤色で約60秒間早い点滅をします。使用環境温度が高い場合は、環境温度の低い場所でお使いください。
それでもTEMPランプが点滅する場合は、ただちに使用を中止し、ご購入いただいた特約店、またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

ビデオライトを準備する

本機をカメラに取り付ける(イラストB)

アクセサリーシューに取り付ける
取り付ける前に、シュー取り付け部に異常がないか確認してください。
1 本機の固定ツマミをRELEASE側にゆるめてネジを引っ込める
2 本機をカメラのアクセサリーシューに差し込む
3 固定ツマミをLOCKの方向に締め、本機を固定する

凹ネジへ取り付ける
1 本機の固定ツマミをLOCK側にまわし、ネジを少し出す
2 本機のネジ部を凹ネジへ合わせる
3 固定ツマミをLOCKの方向に締め、本機を固定する

三脚やグリップの凸ネジに取り付ける
1 本機の固定ツマミをRELEASE側に回らなくなるまでゆるめてネジを引っ込める
2 本機に凸ネジを挿入し、時計まわりに回して固定する

ご注意
- 本機の使用頻度によっては、シュー取り付け部に傷やひびが発生し、破損、落下の危険があります。
  シュー取り付け部に傷やひびが発生した場合は、新しい部品に交換してください。(交換部品 シューホルダー S組み立て(番号X-2177-208-2))
  ご購入についてはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。
- 本機をインテリジェントアクセサリーシュー搭載のカメラに取り付けないでください。シュー取り付け部が破損することがあります。

本機に電源を接続する

接続する前にPOWERスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。
本機の電源は以下の二つがあります。

本機にバッテリーを取り付ける(イラストC)

ご注意
- 充電したバッテリーをお使いください。
- バッテリーは必ずソニー製"インフォリチウム"バッテリーをご使用ください。NP-F970/F770を推奨します。
- ソニー製"インフォリチウム"バッテリー NP-F570/F550/F530/F330は使用できません。

LIGHT端子アダプターを使用する(イラストD)
LIGHT端子アダプターに対応するソニー製ビデオカメラでのみお使いになれます。
LIGHT端子アダプターを本機やカメラに取り付ける際は、カメラの電源を切った状態で行ってください。

LIGHT端子アダプターを本機のバッテリー取り付け部に取り付け、プラグをカメラに差し込む
- カメラのLIGHT端子(イラスト**D-a**)とLIGHT端子アダプターのプラグ(イラスト**D-b**)の向き、形状をよく確認して接続してください。
- LIGHT端子について詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 本機を使用しないときはプラグをカメラから抜いてください。使用しないときもカメラのバッテリーを消費します。

角度を調整する(イラストE)

1 コインを使って照射角度調節ネジをゆるめ、角度を調節する
2 照射角度調節ネジを回し、充分締め付けて固定する

ご注意
角度を調節するときは、ビデオライト本体をしっかりと持って照射角度調節ネジをゆるめてください。

保護板、集光レンズ、ディフューザーを開く

イラストAのように約45度の位置まで開いてください。

ご注意
- 45度以上は破損防止の緩衝領域です。45度以上無理な力で開くと破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 本機を閉じる際は、集光レンズ、ディフューザー、保護板の順に閉じてください。

色温度変換フィルターを取り付ける(イラストF)

必要に応じて、色温度変換フィルターを取り付けることができます。
色温度変換フィルターの左右にある突起部分を黒い面を表面にして前面パネルと枠の隙間に差し込む
取りはずすときは、取り付けと逆の手順で取りはずす

ご注意
- 取りつけの際、無理な力を加えないでください。
- 色温度変換フィルターの着脱は、電源を切った状態で行ってください。またホコリやゴミなどを取り除いてから行ってください。

ビデオライトを使う

本機を点灯する

緑色のボタンを押しながらスイッチをスライドさせ、POWERスイッチを「ON」に合わせる
バッテリー残量ランプが順番に点灯し、残量をチェックし計算します。
ソニー製インフォリチウムバッテリーを使用したときは、POWERスイッチを「ON」にしてから約1.5秒後に白色LEDが点灯し、約8秒後には残量を表示します。
LIGHT端子アダプターを使用したときは、約1.5秒後に白色LEDが点灯します。

ご注意
- LIGHT端子アダプターを使用し、対応するビデオカメラのLIGHTスイッチが「AUTO」になっている場合、録画に連動して本機が点灯／消灯するため、本機のPOWERスイッチを「ON」にしても録画を開始するまで本機は点灯しません。

照度を調整する

照度はBRIGHTダイヤルで、100%(MAX)～約10% (MIN)まで調節できます。

集光レンズを使用する

集光レンズを使用すると照度が約5倍に上がります。
照射角度は狭くなります。

ディフューザーを使用する

ディフューザーを使用するとまぶしさが低減され、光がやわらかくなります。

色温度変換フィルターを使用する

付属の色温度変換フィルターを使用することで、約3,200 Kの色温度に変換できます。(フィルターのサイズは46 mm×67 mm　角R10－4)

フィルターの交換方法(イラストG)
1 裏側の透明なシートの切り欠き部分(a)に指を置き、フィルターをずらしながらゆっくり抜き取る
2 新しいフィルターを差し込み、穴のいずれかに指を添え(b)、少しずつずらしながらゆっくり奥まで挿入する

ご注意
- LIGHT 端子アダプターを使用している場合、本機のPOWERスイッチを「ON」にして、対応するカメラのLIGHTスイッチを「AUTO」にすると、録画開始から約1.5秒遅れて本機が点灯します。問題となる場合はカメラのLIGHTスイッチを「MAN」にして本機を録画前に点灯してください。カメラの取扱説明書もご覧ください。
- 本機を使って撮影する際、被写体とカメラの距離が近すぎると、被写体の影が何重にも重なることがあります(マルチシャドー)。
- 色温度は、BRIGHTダイヤルの位置や、白色LEDの温度で若干変化するので、撮影前に必ずマニュアルでカメラのホワイトバランスを調整してください。
- フィルター使用時は照度が若干低くなり、照射角度がやや狭くなります。
- 色温度変換フィルターの中に挿入されているフィルターは使用時間や条件により特性が変化します。適宜画像を確認のうえ、交換することをおすすめします。また未使用時は冷暗所で保管してください。(予備フィルター 1枚付属)

ビデオライトをはずす

1 POWERスイッチを「OFF」にする
LIGHT端子アダプターを使用している場合は、カメラからプラグを抜いてください。
2 バッテリーリリースボタンをスライドさせた状態でバッテリーまたはLIGHT端子アダプターを引き上げる
3 本機の固定ツマミをRELEASE側にゆるめる
凸ネジに取り付けたときは、凸ネジ側をゆるめる。
4 本機をカメラのアクセサリーシュー、または三脚などからはずす

ビデオライトのお手入れ

時々、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少しふくませた布で拭いてから、もう一度から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

主な仕様

電源	• ソニー製"インフォリチウム"バッテリー Lシリーズ (NP-F970/F770) DC 7.2 V • ソニー製ビデオカメラLIGHT端子出力 (DC12V) (同梱LIGHT端子アダプター使用時)
消費電力	約18 W (ソニー製"インフォリチウム"バッテリー Lシリーズ使用時) 約20 W (LIGHT端子アダプター使用時)
最大照度	約1,800 lux(1 m)(集光レンズ使用時)
照射角度	約65度(集光レンズ未使用時)
連続照射時間	約2時間40分 (NP-F970満充電、BRIGHTダイヤルMAX、周囲温度25 ℃時) 約1時間45分 (NP-F770満充電、BRIGHTダイヤルMAX、周囲温度25 ℃時)
照射距離	集光レンズ使用時 1m：約1,800 lux 3m：約200 lux 5m：約72 lux 8m：約28 lux 10m：約18 lux
色温度	約5,500 K (BRIGHTダイヤルMAX、周囲温度25 ℃の場合の初期値) 約3,200 K (同梱の色温度変換フィルター装着時) (BRIGHTダイヤルMAX、周囲温度25 ℃の場合の初期値)
使用温度	0 ℃～40 ℃
保存温度	-20 ℃～+60 ℃
外形寸法	約108 mm×150 mm×129 mm(幅/高さ/奥行き)
質量(本体のみ)	約450 g
同梱物	バッテリービデオライト(1) LIGHT端子アダプター (コード部 約25 cm)(1) 色温度変換フィルター (1) 印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ご購入いただいた特約店、またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではバッテリービデオライトの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ご購入いただいた特約店、またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
- **品名：HVL-LBPB**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日**

【ソニー業務用商品のご購入、取り扱い方法、修理に関する相談窓口】

《電話》
業務用商品相談窓口
フリーダイヤル **0120-788-333**
携帯電話・PHS・一部の IP 電話からは **0466-31-2588**
FAX 番号 **0120-333-389**
受付時間　9:00 ～ 18:00（土・日・祝日及び年末年始は除く）
《ホームページ》
ソニーウェブサイト http://www.sony.jp/professional/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南 1-7-1

English

Before operating the unit, please read these instructions thoroughly, and retain them for future reference.

Owner's Record
The model and serial numbers are located on the bottom. Record the serial number in the space provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.
Model No. HVL-LBPB　Serial No. ________________

WARNING
To reduce fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

For Customers in the U.S.A. and Canada
This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

For the Customers in the U.S.A.

CAUTION
You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

NOTE
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

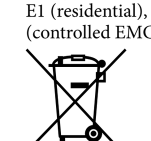
CAUTION
Replace the battery with the specified type only. Otherwise, fire or injury may result.

Do not expose the batteries to excessive heat such as sunshine, fire or the like.

< Notice for the customers in the countries applying EU Directives >
The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

This product with the CE marking complies with the EMC Directive issued by the Commission of the European Community.
Compliance with this directive implies conformity to the following European standards:
- EN55103-1: Electromagnetic Interference (Emission)
- EN55103-2: Electromagnetic Susceptibility (Immunity)

This product is intended for use in the following Electromagnetic Environment(s):
E1 (residential), E2 (commercial and light industrial), E3 (urban outdoors) and E4 (controlled EMC environment ex. TV studio).



Disposal of Waste Electrical and Electronic Equipment for business use (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)
This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable take-back scheme for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local Sony office or visit Sony Europe's web site for business customers:
http://www.sonybiz.net/environment

Features

- When used with the condenser lens, this video light provides a center illuminance of approximately 1,800 lux. (When the distance from the video light to the subject is 1 m)
- The HVL-LBPB is a video light with a high-brightness white LED as its lens light source.
- The video light can be set to two color temperatures, 5,500 K or 3,200 K (when using the supplied color conversion filter).
- The white LED has a long lifetime of about 10,000 hours along with impact-resistant and weather-resistant qualities, and so requires almost no maintenance.
- A LIGHT connector adaptor is supplied that allows the video light to be powered by a camera with a LIGHT connector. If you use it, you do not need the battery pack for the video light.
  (The LIGHT connector adaptor can only be used with compatible cameras. For details about the LIGHT connector, see the instruction manual of the camera.)

Precautions

- The video light does not have dust-proof, splash-proof or water-proof specifications.
- The video light is a precision instrument. Do not drop, strike or apply a strong impact.
- Do not attach the video light to the camera with an intelligent accessory shoe. The accessory shoe may be damaged.
- The operating temperature of the video light is from 0 °C (35 °F) to 40 °C (104 °F).
- Do not block the ventilation holes. Doing so will cause the internal temperature to rise which can cause a fire or an accident and cause the video light to malfunction.
- Do not look at the white LED directly at close range while it is on. It may damage your eyes.
- To prevent the camera from dropping, do not hold the video light attached to the camera to carry it.
- The LIGHT connector adaptor is specially made for the video light. Using it with another device may cause the device to malfunction.
- Do not place the video light near combustible or volatile solvents, such as alcohol or benzine. Doing so may cause a fire or smoke.
- Do not allow any liquid into the video light or drop the combustible or metal objects on the camera. Keeping using the camera after it, doing so may cause a fire or cause the video light to malfunction.
- Do not use or store the camera in the following locations. Doing so may cause the camera to malfunction or deform. :
  — a high temperature place such as inside a closed car in summer or in strong sunshine
  — in direct sunlight or near a heater
  — locations subject to intense vibrations
- When using the video light in low or high temperature, the battery pack life will be shorter, so the lighting time is also reduced. It should be notes the battery capacity decreases as temperatures changing. When using the video light at the temperature of 10 °C (50 °F) or less, we recommend operating following steps for longer battery life.
  — Put the battery pack in your pocket to warm it and attach the battery pack to the video light just before use.
  When putting a pocket heat pad in your pocket with the battery pack, be careful not to touch the pocket heat pad to the battery pack directly.
  — Charge the battery pack at room temperature (from 10 °C (50 °F) to 30 °C (85 °F))
- When you have finished using the video light, be sure that the POWER switch of the video light is set to "OFF."
- When not using the video light or you have finished using it, be sure to remove the battery pack from the video light.
- After use, do not store the video light into the case etc. immediately. The white LED may be damaged by the generated heat. When storing the video light into the case, be sure that the power of the video light is set to "OFF," and it has cooled sufficiently.
- Do not leave the condenser lens in direct sunlight etc. Leaving the condenser lens in direct sunlight while it is closed may cause the video light to malfunction. Leaving the condenser lens in direct sunlight while it is opened may cause a fire near the focal point of the condenser lens.
- Recording with the video light with attached to the camera may slightly affect the recorded sound.
- Do not apply the strong force or impact to the video light attached to the camera or other device.

A Identifying the parts

HVL-LBPB video light
1 Diffuser
2 Protection plate
3 Condenser lens
4 Ventilation holes
5 TEMP lamp
6 Remaining battery lamp
7 POWER switch
8 BRIGHT dial
9 Lighting angle adjusting screw (Coin screw)
10 Light attachment knob
11 Battery check button
12 Shoe attachment
13 Screw
14 Battery release button
15 Battery mount

16 Color conversion filter

LIGHT connector adaptor
17 Video light side attachment
18 Plug

Lamp indicator

Remaining battery lamp
The remaining battery lamp shows the approximate remaining battery power of the battery pack attached directly to the video light. The remaining battery power will be displayed about 8 seconds after setting the POWER switch of the video light to "ON" or pressing the battery check button.

(4 segments lit)	Approx. 75% or more
(3 segments lit)	Approx. 50% - 75%
(2 segments lit)	Approx. 25% - 50%
(1 segment lit)	Approx. 5% - 25%
(1 segment flashing)	Approx. 5% or less

- **When the remaining battery power is low**
  About 3 minutes before the battery runs out, the remaining battery lamp turns green and begins to slowly flash.
  The available time of the battery pack varies depending on the frequency of use or operating temperature. This indicator should only be used as a rough guide. We recommend that replacing the battery pack promptly.
- **When the battery pack runs out**
  When the battery pack runs out, the video light will turn off and the remaining battery lamp turns green and begins to blink rapidly for about 10 seconds.
  Set the POWER switch of the video light to "OFF" and recharge the battery pack or replace the battery pack with a fully charged it.
- **When a battery communication error occurs**
  When a battery pack other than the Sony "InfoLITHIUM" battery pack L series is attached, a battery communication error occurs. After the remaining battery power check, the remaining battery lamp starts to blink for about 10 seconds,

Notes
- When a LIGHT adaptor connector or battery pack other than the Sony "InfoLITHIUM" battery pack L series (NP-F970/F770) is attached to the video light, the remaining battery power is not displayed correctly.
- When using a battery pack that has been repeatedly charged and discharged and only has a short remaining lifetime, the remaining battery power display may not show the actual remaining battery power.
- The battery pack cannot be recharged with the video light.

TEMP lamp
When the video light overheats for some reason, it will be turned off and the TEMP lamp turns red and blinks rapidly for about 60 seconds. If the operating temperature is high, use the video light at a lower temperature.
If the TEMP lamp continues to blink, stop using the video light and consult your Sony dealer.

Preparation

Attaching the video light to the camera (See illustration B)

Attaching the video light to the accessory shoe
Before attaching the video light to the accessory shoe, check the video light's shoe attachment for damage etc.
1 Loosen the light attachment knob on the video light toward RELEASE to retract the screw.
2 Attach the video light to the accessory shoe on the camera.
3 Tighten the light attachment knob on the video light toward LOCK to fix the camera.

Attaching the video light to the concave screw
1 Turn the light attachment knob on the video light toward LOCK to extend the screw.
2 Align the screw on the video light with the concave screw on the camera.
3 Tighten the light attachment knob on the video light toward LOCK to fix the camera.

Attaching the video light to the convex screw on the tripod or grip
1 Loosen the light attachment knob on the video light toward RELEASE as far as it will go to retract the screw.
2 Insert the convex screw into the video light and turn the video light clockwise.

Notes
- Depending on the frequency of use of the video light, the shoe attachment may be scratched or cracked. This can cause the video light to be damaged or fall off.
  If you find scratches and cracks on the shoe attachment, replace it with a new one.
  (Replacement part: Shoe holder S assembly (Number: X-2177-208-2))
  You can obtain it at your Sony dealer.
- Do not attach the video light to the camera with an intelligent accessory shoe. Doing so may damage the shoe attachment.

Connect the power supply to the video light

Before connecting, check that the video light's POWER switch is set to "OFF."
There are two types of video light power supply, as follows.

Attaching the battery pack to the video light (See illustration C)

Notes
- Use a charged battery pack.
- Always use a Sony "InfoLITHIUM" battery pack. We recommend using NP-F970/F770.
- The Sony "InfoLITHIUM" battery pack NP-F570/F550/F530/F330 cannot be used.

Using the LIGHT connector adaptor (See illustration D)
You can only use the LIGHT connector adaptor with compatible Sony video cameras.
When attaching the LIGHT connector adaptor to the video light and the camera, always turn off the power of the camera first.

Attach the LIGHT connector adaptor to the battery mount of the video light and connect the plug to the camera.
- Check the direction and shape of the LIGHT connector of the camera (illustration **D-a**) and the plug of the LIGHT connector adaptor (illustration **D-b**) before connecting.
- For details about the LIGHT connector, see the instruction manual of the camera.
- When not using the video light, disconnect the plug from the camera. The battery pack is discharged even when the video light is not in use.

Adjusting the angle of the video light (See illustration E)

1 Loosen the lighting angle adjusting screw (coin screw) with a coin and adjust the angle of the video light.
2 Tighten the lighting angle adjusting screw (coin screw) firmly to fix the angle of the video light.

Notes
When adjusting the angle of the video light, hold the video light body firmly while loosening the lighting angle adjusting screw (coin screw).

Opening the protection plate, condenser lens and diffuser

Open the protection plate, condenser lens and diffuser about 45 degrees as in illustration A.

Notes
- The angle of 45 degrees or more provides a buffer range to prevent damage. Be careful not to open the protection plate, condenser lens and diffuser over 45 degrees with a strong force. Doing so may cause them to damage.
- When storing the video light, store the condenser lens first, followed by the diffuser and then the protection plate.

Attaching the color conversion filter (See illustration F)
You can attach a color conversion filter as necessary.
Attach the color conversion filter with the black side up. Insert the projecting portion on the right and left of the color conversion filter into the space between the front panel and frame of the video light.
Detach the color conversion filter reverse procedure.

Notes
- Do not apply the strong force when attaching the color conversion filter.
- When attaching or detaching the color conversion lens, make sure that the power of the video light is set to off. Remove the dust and dirt from the video light before attaching the color conversion filter to the video light.

Using the video light

Turning the video light on

Slide the POWER switch to "ON" while pressing down on the green button on the POWER switch.
The remaining battery lamp will light on in steps and the remaining battery power will be calculated.
When you use a Sony "InfoLITHIUM" battery pack with the video light, the white LED lamp lights up for about 1.5 second after you set the POWER switch to "ON" and the remaining battery power is displayed about 8 seconds later.
When you use the LIGHT connector adaptor, the white LED lamp comes on about 1.5 second later.

Notes
- If the LIGHT switch of the video camera is set to "AUTO" when using the LIGHT connector adaptor, the video light turns on or off in conjunction with camera recording. The video light does not come on until the camera starts recording even if the POWER switch of the video light is set to "ON".

Adjusting the illuminance of the video light

The illuminance of the video light can be adjusted between 100% (MAX) and 10% (MIN) using the BRIGHT dial on the video light.

Using the condenser lens

The illuminance of the video light can be raises about 5 times by using the condenser lens.
The angle of the illuminance will be narrow.

Using the diffuser

The glare will be reduced and the light will be softer by using the diffuser.

Using the color conversion filter

The color temperature can be changed to about 3,200 K by using the supplied color conversion filter.
(The filter size is 46 mm × 67 mm (1 13/16 in. × 2 3/4 in.))

Replacing the filter (See illustration G)
1 Place your finger at the cutout of the transparent sheet (a) on the back side of the color conversion filter. Pull out the sheet slowly.
2 Insert a new filter. Place your finger on any holes (b) and pull in the filter all way slowly.

Notes
- When using the LIGHT connector adaptor, if the POWER switch of the video light is set to "ON" and the LIGHT switch of the compatible camera is set to "AUTO", the video light comes on about 1.5 second after recording starts. To prevent this time-lag, set the LIGHT switch of the camera to "MAN" and turn on the video light before recording starts. Also see the instruction manual of the camera.
- When recording with the video light, if the subject is too close to the camera, several shadows of the subject may overlap (multi-shadow).
- The color temperature varies slightly depending on the position of the BRIGHT dial and temperature of the white LED. Adjust the white balance of the camera manually before recording.
- When using the color conversion filter, the illuminance is reduced slightly and the lighting angle is narrow.
- The property of the filter inserted in the color conversion filter varies according to the operating time and condition. We recommend that you check the recorded image and replace the filter if necessary. Store the unused filter at the cool and dark place. (One spare filter is supplied.)

Removing the video light from the camera

1 Set the POWER switch of the video light to "OFF."
When using the LIGHT connector adaptor, disconnect the plug from the camera.
2 Pull the battery pack or the LIGHT connector adaptor upward while sliding the battery release button.
3 Loosen the light attachment knob on the video light toward RELEASE.
If the video light is attached to a convex screw, loosen the convex screw.
4 Remove the video light from the accessory shoe of the camera, tripod etc.

Maintenance

Clean the video light with a soft dry cloth. If the video light get dirty, wipe with a cloth slightly moistened with a mild detergent solution and then wipe with a soft dry cloth again. Do not use any type of solvent such as alcohol, benzine, or thinner for cleaning. Doing so may cause the surface of the video light to damage.

Specifications

Power source
- Sony "InfoLITHIUM" battery pack L series (NP-F970/F770) DC 7.2 V
- Sony video camera LIGHT connector output (DC 12 V) (When using the supplied LIGHT connector adaptor)

Power consumption
Approx. 18 W
(When using a Sony "InfoLITHIUM" battery L series)
Approx. 20 W
(When using the LIGHT connector adaptor)

Maximum illuminance
Approx. 1,800 lux (1 m (3 1/5 ft.)) (When using the condenser lens)

Lighting angle
Approx. 65 degrees
(When not using the condenser lens)

Continuous lighting time
Approx. 2 hours 40 minutes
(When using a fully charged NP-F970 and the BRIGHT dial is set to MAX at an ambient temperature of 25 °C (70 °F))
Approx. 1 hour 45 minutes
(When using a fully charged NP-F770 and the BRIGHT dial is set to MAX at an ambient temperature of 25 °C (70 °F))

Lighting distance
When using the condenser lens
1 m (3 1/5 ft.): Approx. 1,800 lux
3 m (9 4/5 ft.): Approx. 200 lux
5 m (16 1/2 ft.): Approx. 72 lux
8 m (26 1/3 ft.): Approx. 28 lux
10 m (32 4/5 ft.): Approx. 18 lux

Color temperature
Approx. 5,500 K
(Default setting with the BRIGHT dial is set to MAX at an ambient temperature of 25 °C (70 °F))
Approx. 3,200 K
(When the supplied color conversion filter is attached to the video light)
(Default setting with the BRIGHT dial is set to MAX at an ambient temperature of 25 °C (70 °F))

Operating temperature
0 °C to 40 °C (35 °F to 104 °F)

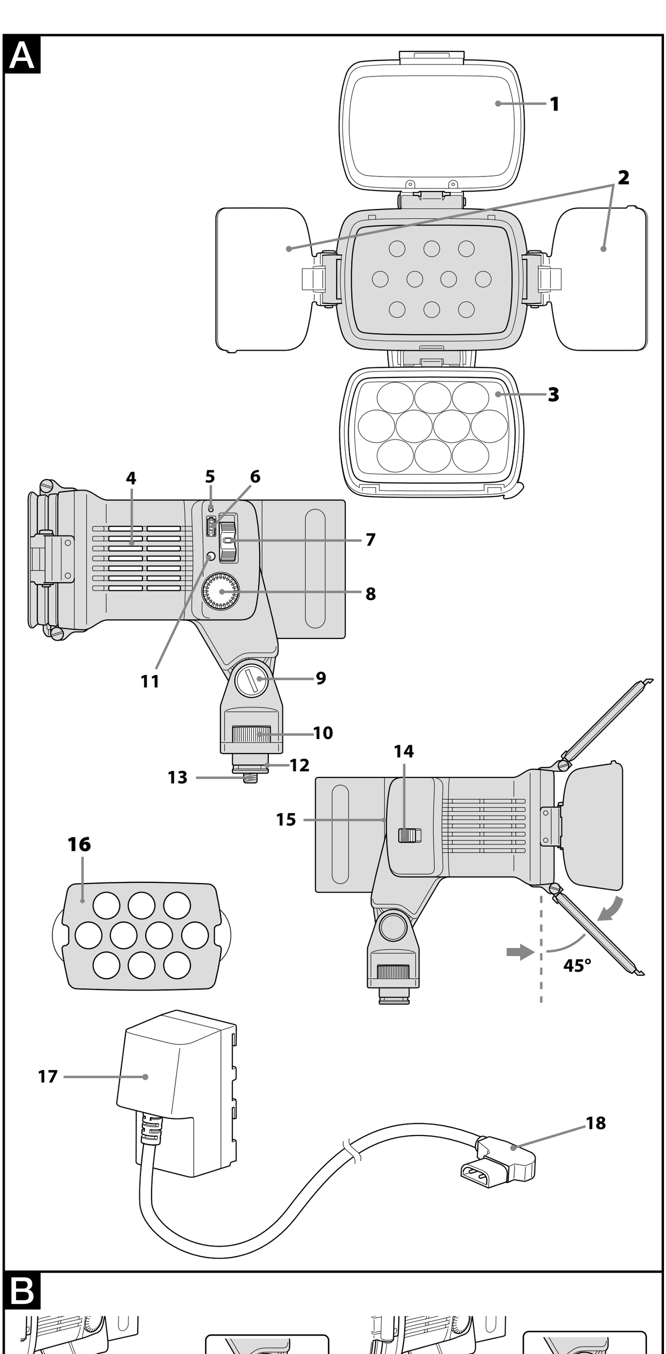
Storing temperature
-20 °C to +60 °C (-4 °F to +140 °F)

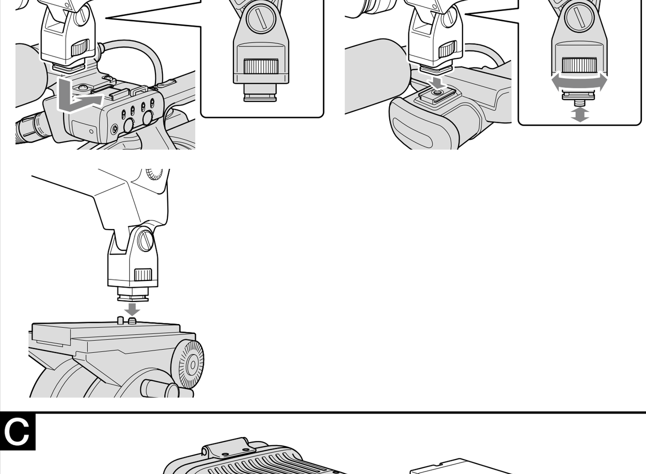
Dimensions
Approx. 108 mm × 150 mm × 129 mm (w/h/d) (4 3/8 in. × 6 in. × 5 1/8 in.)

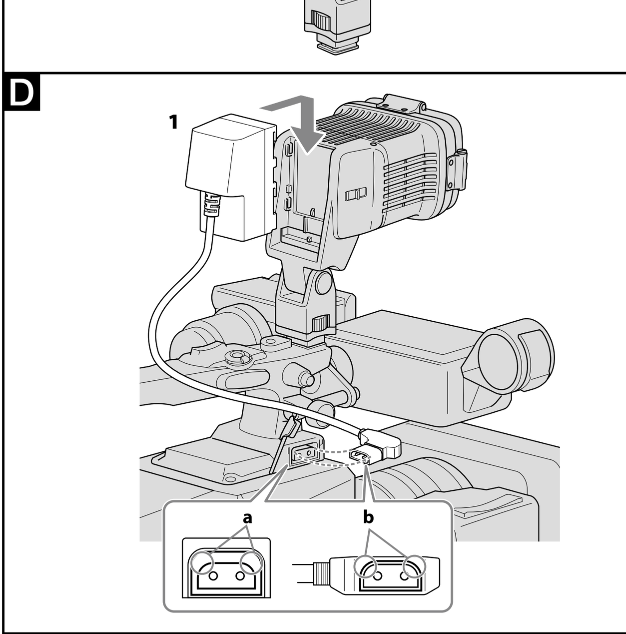
Mass (Video light only)
Approx. 450 g (15.9 oz.)

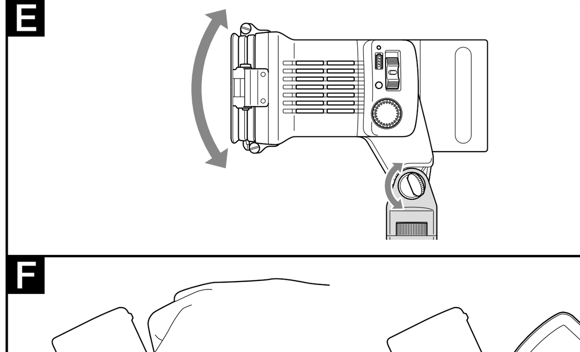
Included items
Battery video light (1)
LIGHT connector adaptor (Cord part Approx. 25 cm (10 in.)) (1)
Color conversion filter (1)
Set of printed documentation

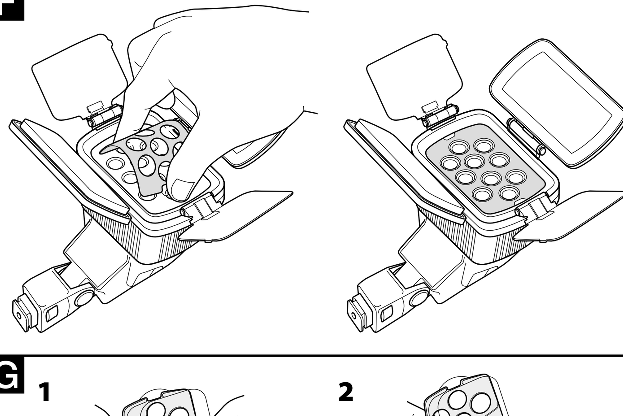
Design and specifications are subject to change without notice.
"InfoLITHIUM" is a trademark of Sony Corporation.

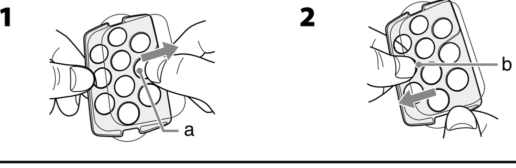












Français

Avant d'utiliser ce produit, prière de lire attentivement ces instructions et de les conserver pour toute référence future.

Aide-mémoire

Les numéros de modèle et de série se situent sous l'appareil. Prendre en note le numéro de série dans l'espace prévu ci-dessous. Se reporter à ces numéros lors des communications avec le détaillant Sony au sujet de ce produit.
Modèle no HVL-LBPB No de série ________________

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou de décharge électrique, n'exposez pas cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Pour les clients aux É.-U. et au Canada

Cet appareil est conforme à la section 15 des règlements FCC. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes : (1) cet appareil ne doit pas provoquer d'interférences nuisibles, (2) cet appareil doit accepter toute interférence, y compris celles susceptibles de provoquer son fonctionnement indésirable.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Pour les clients aux É.-U.

AVERTISSEMENT

Par la présente, vous êtes avisé du fait que tout changement ou toute modification ne faisant pas l'objet d'une autorisation expresse dans le présent manuel pourrait annuler votre droit d'utiliser l'appareil.

Note

L'appareil a été testé et est conforme aux exigences d'un appareil numérique de Classe B, conformément à la Partie 15 de la réglementation de la FCC.
Ces critères sont conçus pour fournir une protection raisonnable contre les interférences nuisibles dans un environnement résidentiel. L'appareil génère, utilise et peut émettre des fréquences radio; s'il n'est pas installé et utilisé conformément aux instructions, il pourrait provoquer des interférences nuisibles aux communications radio. Cependant, il n'est pas possible de garantir que des interférences ne seront pas provoquées dans certaines conditions particulières. Si l'appareil devait provoquer des interférences nuisibles à la réception radio ou à la télévision, ce qui peut être démontré en allumant et éteignant l'appareil, il est recommandé à l'utilisateur d'essayer de corriger cette situation par l'une ou l'autre des mesures suivantes :
—Réorienter ou déplacer l'antenne réceptrice.
—Augmenter la distance entre l'appareil et le récepteur.
—Brancher l'appareil dans une prise ou sur un circuit diff érent de celui sur lequel le récepteur est branché.
—Consulter le détaillant ou un technicien expérimenté en radio/téléviseurs.

ATTENTION

Remplacez la batterie par une batterie correspondant au type spécifi é uniquement. Sinon vous risquez de provoquer un incendie ou des blessures.

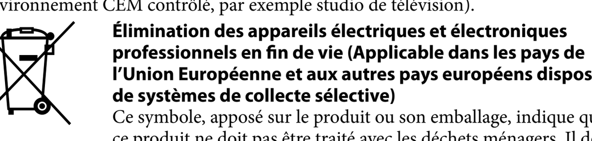
N'exposez pas les piles à une chaleur excessive, notamment aux rayons directs du soleil, à une flamme, etc.

< Avis aux consommateurs des pays appliquant les Directives UE >

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japon. Le représentant agréé pour la compatibilité électromagnétique et la sécurité du produit est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question relative à la garantie ou aux réparations, reportez-vous à l'adresse que vous trouverez dans les documents ci-joints, relatifs à la garantie et aux réparations.

Ce produit porte la marque CE et est conforme à la Directive CEM publiée par la Commission de la Communauté Européenne.
La conformité à cette directive implique la conformité aux normes européennes suivantes :
- EN55103-1 : Interférences (émissions) électromagnétiques
- EN55103-2 : Susceptibilité (immunité) électromagnétique

Ce produit est destiné à une utilisation dans les environnements électromagnétiques suivants :
E1 (résidentiel), E2 (commercial et industrie légère), E3 (intérieur urbain) et E4 (environnement CEM contrôlé, par exemple studio de télévision).



Élimination des appareils électriques et électroniques professionnels en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)
Ce symbole, apposé sur le produit ou son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers. Il doit être déposé dans un point de collecte spécialisé dans le recyclage des équipements électriques et électroniques. En s'assurant que ce produit est bien mis au rebut de manière appropriée, vous aiderez à prévenir les conséquences négatives potentielles pour l'environnement et la santé humaine. Le recyclage des matériaux aidera à conserver les resources naturelles. Pour toute information supplémentaire concernant le recyclage de ce produit, contactez votre centre Sony local ou consultez le site webde Sony pour l'Europe destiné aux professionnels :
http://www.sonybiz.net/environment

Caractéristiques

- Utilisée avec la lentille condenseur, cette lampe vidéo fournit une lumière d'environ 1 800 lux au centre. (Lorsque la lampe vidéo est à 1 m du sujet)
- La HVL-LBPB est une lampe vidéo pourvue d'une LED blanche à haute luminosité comme source lumineuse.
- La lampe vidéo peut être réglée sur deux températures de couleur, 5 500 K ou 3 200 K (lorsque le filtre de conversion de couleur fourni est utilisé).
- La LED blanche a une longue durée de vie, environ 10 000 heures, et se caractérise par sa résistance aux chocs et au temps, si bien qu'elle ne nécessite pratiquement aucun entretien.
- L'adaptateur de connecteur LIGHT fourni permet d'alimenter la lampe vidéo par un caméscope muni d'un connecteur LIGHT. Si vous l'utilisez vous n'aurez pas besoin de la batterie pour alimenter la lampe vidéo.
  (L'adaptateur de connecteur LIGHT ne peut être utilisé qu'avec les caméscopes compatibles. Pour le détail sur le connecteur LIGHT, voir le mode d'emploi du caméscope.)

Précautions

- La lampe vidéo n'est pas étanche à la poussière, aux projections d'eau ou à l'eau.
- La lampe vidéo est un instrument de précision. Ne la laissez pas tomber, ne la cognez pas et ne l'exposez pas à un choc puissant.
- Ne rattachez pas la lampe vidéo au caméscope par une griffe porte-accessoire intelligente. La griffe porte-accessoire pourrait être endommagée.
- La température de fonctionnement de la lampe vidéo va de 0 °C (35 °F) à 40 °C (104 °F).
- Ne bloquez pas les orifices de ventilation. Ceci entraînerait une surchauffe interne, susceptible de causer un incendie ou un accident et d'endommager la lampe vidéo.
- Ne regardez pas directement la LED blanche de trop près lorsqu'elle est allumée. Ceci peut causer des lésions visuelles.
- Pour éviter toute chute du caméscope, ne portez pas le caméscope par la lampe vidéo lorsqu'elle est rattachée.
- L'adaptateur de connecteur LIGHT est conçu spécialement pour cette lampe vidéo. L'emploi d'un autre adaptateur avec un autre appareil peut endommager l'appareil.
- Ne posez pas la lampe vidéo près de solvants combustibles ou volatiles, comme l'alcool ou la benzine. Ceci peut causer un incendie ou de la fumée.
- Ne laissez pas tomber de liquide dans la lampe vidéo ni d'objets combustibles ou métalliques dans le caméscope. L'utilisation du caméscope dans cet état peut causer un incendie ou une panne de la lampe vidéo.
- N'utilisez pas et ne rangez pas le caméscope aux endroits suivants. Le caméscope pourrait tomber en panne ou se déformer. :
  —endroit exposé à une température élevée comme dans une voiture fermée en été ou en plein soleil
  —en plein soleil ou près d'un appareil de chauffage
  —endroit exposé à de fortes vibrations
- Lorsque vous utilisez la lampe vidéo à une température basse ou élevée, l'autonomie de la batterie est plus faible, et le temps d'éclairage est donc réduit. Il faut savoir que la capacité d'une batterie décroît avec les changements de température. Si la lampe vidéo doit être utilisée à une température de 10 °C (50 °F) ou moins, il est conseillé de prendre les mesures suivantes pour allonger l'autonomie de la batterie.
  —Mettre la batterie au chaud dans une poche et l'insérer dans la lampe vidéo juste avant de l'utiliser.
  Si vous mettez une chaufferette dans votre poche, faites attention de ne pas mettre la chaufferette directement contre la batterie.
  —Charger la batterie à la température ambiante (de 10 °C (50 °F) à 30 °C (85 °F))
- Lorsque vous n'avez plus besoin de la lampe vidéo, veillez à mettre l'interrupteur POWER de la lampe vidéo en position « OFF ».
- Lorsque vous n'utilisez pas la lampe vidéo ou lorsque vous n'en avez plus besoin, retirez la batterie de la lampe vidéo.
- Ne rangez pas la lampe vidéo dans son étui, etc. immédiatement après l'avoir utilisée. La LED blanche pourrait être endommagée par la chaleur produite. Avant de ranger la lampe vidéo dans son étui, veillez à mettre l'interrupteur POWER en position « OFF » et à laisser suffisamment refroidir la lampe.
- Ne laissez pas la lentille condenseur en plein soleil, etc. Laisser la lentille condenseur en plein soleil quand elle est fermée peut endommager la lampe vidéo. Laisser la lentille condenseur en plein soleil quand elle est ouverte peut causer un incendie aux alentours du point focal de la lentille condenseur.
- L'enregistrement avec la lampe vidéo rattachée au caméscope peut affecter le son enregistré.
- N'appliquez pas de force et n'exposez pas la lampe vidéo à un impact puissant lorsqu'elle est rattachée au caméscope ou à un autre appareil.

A Identification des éléments

Lampe vidéo HVL-LBPB

1 **Diffuseur**
2 **Plaque de protection**
3 **Lentille condenseur**
4 **Orifices de ventilation**
5 **Témoin TEMP**
6 **Témoin de charge restante de la batterie**
7 **Interrupteur POWER**
8 **Molette BRIGHT**
9 **Vis de réglage d'angle d'éclairage (Vis à fente)**
10 **Boulon de fixation de lampe**
11 **Bouton de contrôle de la batterie**
12 **Sabot**
13 **Vis**
14 **Bouton de libération de la batterie**
15 **Monture de batterie**
16 **Filtre de conversion de couleur**

Adaptateur de connecteur LIGHT
17 **Fixation latérale de lampe vidéo**
18 **Fiche**

Témoin de lampe

Témoin de charge restante de la batterie

Le témoin de charge restante de la batterie montre le niveau de charge approximatif de la batterie rattachée directement à la lampe vidéo. Le niveau de charge de la batterie est indiqué pendant 8 secondes environ après le réglage de l'interrupteur POWER de la lampe vidéo sur « ON » ou une pression sur le bouton de contrôle de la batterie.

(4 segments éclairés)	Environ 75% ou plus
(3 segments éclairés)	Environ 50% - 75%
(2 segments éclairés)	Environ 25% - 50%
(1 segment éclairé)	Environ 5% - 25%
(1 segment clignotant)	Environ 5% ou moins

- **Lorsque le niveau de charge de la batterie est faible**
  Environ 3 minutes avant l'épuisement de la batterie, le témoin de charge restante de la batterie devient vert et se met à clignoter.
  L'autonomie de la batterie disponible dépend de la fréquence d'utilisation ou de la température ambiante. Ce témoin doit être utilisé à titre de référence seulement. Il est conseillé de remplacer rapidement la batterie à ce moment.
- **Lorsque la batterie est épuisée**
  Lorsque la batterie est épuisée, la lampe vidéo s'éteint et le témoin de charge restante de la batterie devient vert et se met à clignoter rapidement pendant 10 secondes. À ce moment, mettez l'interrupteur POWER de la lampe vidéo en position « OFF » et rechargez la batterie ou remplacez-la par une batterie rechargée.
- **Lorsqu'une erreur de communication de batterie se produit**
  Lorsqu'un autre modèle de batterie que la batterie Sony « InfoLITHIUM » de série L est rattaché, une erreur de communication de batterie se produit. Après la vérification du niveau de charge de la batterie, le témoin de charge restante se met à clignoter pendant 10 secondes.

Remarques
- Lorsqu'un autre adaptateur de connecteur LIGHT ou un autre modèle de batterie que la batterie Sony « InfoLITHIUM » de série L (NP-F970/F770) est rattaché à la lampe vidéo, le niveau de charge de la batterie n'est pas indiqué correctement.
- Lorsque vous utilisez une batterie qui a été très souvent chargée et déchargée, l'indication peut ne pas correspondre à la charge réelle de la batterie, si sa durée de vie est restreinte.
- La batterie ne peut pas être rechargée par la lampe vidéo.

Témoin TEMP

Lorsque la lampe vidéo devient trop chaude pour une raison quelconque, elle s'éteint et le témoin TEMP devient rouge et clignote rapidement pendant 60 secondes environ. Si la température de fonctionnement est élevée, utilisez la lampe vidéo à une température plus faible.
Si le témoin TEMP continue de clignoter, cessez d'utiliser la lampe vidéo et consultez votre revendeur Sony.

Préparatifs

Fixation de la lampe vidéo au caméscope (Voir l'illustration B)

Fixation de la lampe vidéo à la griffe porte-accessoire

Avant de rattacher la lampe vidéo à la griffe porte-accessoire, vérifiez si le sabot de la lampe vidéo n'est pas endommagé, etc.
1 **Desserrez le boulon de fixation de lampe sur la lampe vidéo en le tournant vers RELEASE pour rétracter la vis.**
2 **Rattachez la lampe vidéo à la griffe porte-accessoire du caméscope.**
3 **Serrez le boulon de fixation de lampe sur la lampe vidéo en le tournant vers LOCK pour fixer le caméscope.**

Fixation de la lampe vidéo à la vis concave

1 **Tournez le boulon de fixation de lampe sur la lampe vidéo en le tournant vers LOCK pour faire ressortir la vis.**
2 **Alignez la vis de la lampe vidéo sur la vis concave du caméscope.**
3 **Serrez le boulon de fixation de lampe sur la lampe vidéo en le tournant vers LOCK pour fixer le caméscope.**

Fixation de la lampe vidéo sur la vis convexe du trépied ou de la poignée

1 **Desserrez le plus possible le boulon de fixation de lampe sur la lampe vidéo en le tournant vers RELEASE pour rétracter la vis.**
2 **Insérez la vis convexe dans la lampe vidéo et tournez la lampe vidéo dans le sens horaire.**

Remarques
- Selon la fréquence d'utilisation de la lampe vidéo, le sabot peut se rayer ou craqueler. La lampe vidéo peut alors être endommagée ou tomber.
  Si vous apercevez des rayures ou craquelures sur le sabot, remplacez-le par un neuf. (Pièce de rechange : Ensemble sabot S (Numéro : X-2177-208-2))
  Vous pouvez vous procurer un sabot de rechange auprès d'un revendeur Sony.
- Ne rattachez pas la lampe vidéo au caméscope par une griffe porte-accessoire intelligente. Le sabot pourrait être endommagé.

Raccordez la source d'alimentation à la lampe vidéo

Avant de la raccorder, assurez-vous que l'interrupteur POWER de la lampe vidéo est en position « OFF ».
La lampe vidéo peut être alimentée par deux sources d'alimentation, comme indiqué ci-dessous.

Fixation de la batterie à la lampe vidéo (Voir l'illustration C)

Remarques
- Utilisez une batterie rechargée.
- Utilisez toujours une batterie Sony « InfoLITHIUM ». Il est conseillé d'utiliser la NP-F970/F770.
- Les batteries Sony « InfoLITHIUM » NP-F570/F550/F530/F330 ne peuvent pas être utilisées.

Utilisation de l'adaptateur de connecteur LIGHT (Voir l'illustration D)

L'adaptateur de connecteur LIGHT ne peut être utilisé qu'avec les caméscopes Sony compatibles.
Lorsque vous rattachez l'adaptateur de connecteur LIGHT à la lampe vidéo et au caméscope, éteignez toujours d'abord le caméscope.

Rattachez l'adaptateur de connecteur LIGHT à la monture de batterie de la lampe vidéo et branchez la fiche sur le caméscope.
- Vérifiez la direction et la forme du connecteur LIGHT du caméscope (illustration **D-a**) et de la fiche de l'adaptateur de connecteur LIGHT (illustration **D-b**) avant le branchement.
- Pour le détail sur le connecteur LIGHT, voir le mode d'emploi du caméscope.
- Lorsque vous n'utilisez plus la lampe vidéo, débranchez la fiche du caméscope. La batterie se décharge même lorsque la lampe vidéo n'est pas utilisée.

Réglage de l'angle de la lampe vidéo (Voir illustration E)

1 **Desserrez la vis de réglage d'angle d'éclairage (vis à fente) avec une pièce de monnaie et ajustez l'angle de la lampe vidéo.**
2 **Serrez à fond la vis de réglage d'angle d'éclairage (vis à fente) pour fixer l'angle de la lampe vidéo.**

Remarques
Lorsque vous réglez l'angle de la lampe vidéo, tenez fermement la lampe vidéo tout en desserrant la vis de réglage d'angle d'éclairage (vis à fente).

Ouverture de la plaque de protection, de la lentille condenseur et du diffuseur

Ouvrez la plaque de protection, la lentille condenseur et le diffuseur de 45 degrés, comme sur l'illustration A.

Remarques
- À partir d'une ouverture de 45 degrés, la plaque est bloquée pour qu'elle ne risque pas d'être endommagée. N'essayez pas d'ouvrir la plaque de protection, la lentille condenseur et le diffuseur au-delà de 45 degrés. Ils pourraient être endommagés.
- Lorsque vous rangez la lampe vidéo, rangez d'abord la lentille condenseur, puis le diffuseur et en dernier lieu la plaque de protection.

Fixation du filtre de conversion de couleur (Voir l'illustration F)

Vous pouvez rattacher un filtre de conversion de couleur, si nécessaire.
Fixez le filtre de conversion de couleur en orientant le côté noir vers le haut.
Insérez les saillies sur la droite et la gauche du filtre de conversion de couleur dans l'espace qui leur est réservé entre le panneau avant et le cadre de la lampe vidéo.
Procédez à l'inverse pour détacher le filtre de conversion de couleur.

Remarques
- N'exercez pas de force lorsque vous fixez le filtre de conversion de couleur.
- Lorsque vous rattachez ou détachez le filtre de conversion de couleur, assurez-vous que la lampe vidéo est éteinte. Enlevez la poussière et saleté de la lampe vidéo avant de rattacher le filtre de conversion de couleur à la lampe vidéo.

Utilisation de la lampe vidéo

Éclairage de la lampe vidéo

Mettez l'interrupteur « POWER » en position « ON » tout en appuyant sur le bouton vert sur l'interrupteur POWER.
Les différents niveaux du témoin de charge restante de la batterie s'éclairent et le niveau de charge de la batterie est calculé.
Lorsque vous utilisez une batterie Sony « InfoLITHIUM » avec la lampe vidéo, le témoin de LED blanche s'éclaire pendant 1,5 seconde environ après le réglage de l'interrupteur POWER sur « ON » et le niveau de charge de la batterie est indiqué 8 secondes plus tard environ.
Lorsque vous utilisez l'adaptateur de connecteur LIGHT, le témoin de LED blanche s'éclaire 1,5 seconde plus tard environ.

Remarques
- Si le commutateur LIGHT du caméscope est réglé sur « AUTO » lorsque l'adaptateur de connecteur LIGHT est utilisé, l'éclairage et l'extinction de la lampe vidéo se synchroniseront sur l'enregistrement. La lampe vidéo ne s'éclaire pas tant que le caméscope n'enregistre pas même si l'interrupteur POWER de la lampe vidéo est en position « ON ».

Réglage de l'intensité lumineuse de la lampe vidéo

L'intensité lumineuse de la lampe vidéo peut être réglée de 100% (MAX) à 10% (MIN) avec la molette BRIGHT sur la lampe vidéo.

Utilisation de la lentille condenseur

L'intensité lumineuse de la lampe vidéo peut être multipliée par 5 lorsque la lentille condenseur est utilisée.
L'angle d'éclairage sera toutefois réduit.

Utilisation du diffuseur

L'éclat est réduit et la lumière est plus douce lorsque le diffuseur est utilisé.

Utilisation du filtre de conversion de couleur

La température de couleur peut être changée jusqu'à 3 200 K environ lorsque le filtre de conversion de couleur fourni est utilisé.
(La taille du filtre est de 46 mm × 67 mm)

Remplacement du filtre (Voir l'illustration G)

1 Posez le doigt sur l'échancrure de la feuille transparente (a) à l'arrière du filtre de conversion de couleur. Détachez lentement la feuille.
2 Insérez un nouveau filtre. Posez le doigt sur un trou (b) et insérez le filtre complètement avec précaution.

Remarques
- Lorsque l'adaptateur de connecteur LIGHT est utilisé, si l'interrupteur POWER de la lampe vidéo est en position « ON » et l'interrupteur LIGHT du caméscope compatible en position « AUTO », la lampe vidéo s'éclairera environ 1,5 seconde après le début de l'enregistrement. Pour supprimer ce décalage, réglez l'interrupteur LIGHT du caméscope sur « MAN » et éclairez la lampe vidéo juste avant l'enregistrement. Consultez aussi le mode d'emploi du caméscope.
- Lors de la prise de vue avec la lampe vidéo, les ombres du sujet peuvent se superposer (multiombre) si le sujet est trop rapproché du caméscope.
- La température de couleur varie légèrement selon la position de la molette BRIGHT et la température de la LED blanche. Réglez manuellement la balance des blancs sur le caméscope avant la prise de vue.
- Lorsque le filtre de conversion de couleur est utilisé, la luminosité est légèrement réduite et l'angle d'éclairage plus étroit.
- La propriété du filtre inséré dans le filtre de conversion de couleur dépend de la durée et des conditions de fonctionnement. Il est conseillé de vérifier l'image enregistrée et de remplacer le filtre, si nécessaire. Rangez le filtre inutilisé à un endroit frais et sombre. (Un filtre de rechange est fourni.)

Retrait de la lampe vidéo du caméscope

1 **Mettez l'interrupteur POWER de la lampe vidéo en position « OFF ».**
Lorsque vous utilisez l'adaptateur de connecteur LIGHT, débranchez la fiche du caméscope.
2 **Tirez la batterie ou l'adaptateur de connecteur LIGHT vers le haut tout en faisant glisser le bouton de libération de la batterie.**
3 **Desserrez le boulon de fixation de lampe sur la lampe vidéo en le tournant vers RELEASE.**
Si la lampe vidéo est rattachée à une vis convexe, desserrez la vis convexe.
4 **Détachez la lampe vidéo de la griffe porte-accessoire du caméscope, trépied, etc.**

Entretien

Nettoyez la lampe vidéo avec un chiffon doux et sec. Si la lampe vidéo est très sale, essuyez-la avec un chiffon légèrement imprégné d'une solution détergente neutre et séchez-la ensuite avec un chiffon doux et sec. N'utilisez pas de solvant, comme l'alcool, la benzine ou du diluant pour le nettoyage. La surface de la lampe vidéo risquerait d'être endommagée.

Spécifications

Alimentation
- Batterie Sony « InfoLITHIUM » série L (NP-F970/F770) CC 7,2 V
- Sortie connecteur LIGHT de caméscope Sony (CC 12 V) (Lorsque l'adaptateur de connecteur LIGHT fourni est utilisé)

Consommation
Environ 18 W
(Lorsqu'une batterie Sony « InfoLITHIUM » série L est utilisée)
Environ 20 W
(Lorsque l'adaptateur de connecteur LIGHT est utilisé)

Éclairage maximal
Environ 1 800 lux (1 m (3 1/5 pieds))
(Lorsque la lentille condenseur est utilisée)

Angle d'éclairage
Environ 65 degrés
(Lorsque la lentille condenseur n'est pas utilisée)

Temps d'éclairage en continu
Environ 2 heures 40 minutes
(Lorsqu'une batterie NP-F970 pleinement chargée est utilisée et la molette BRIGHT en position MAX à température ambiante de 25 °C (70 °F))
Environ 1 heure 45 minutes
(Lorsqu'une batterie NP-F770 pleinement chargée est utilisée et la molette BRIGHT en position MAX à température ambiante de 25 °C (70 °F))

Portée
Lorsque la lentille condenseur est utilisée
1 m (3 1/5 pieds): Environ 1 800 lux
3 m (9 4/5 pieds): Environ 200 lux
5 m (16 1/2 pieds): Environ 72 lux
8 m (26 1/3 pieds): Environ 28 lux
10 m (32 5/4 pieds): Environ 18 lux

Température de couleur
Environ 5 500 K
(Réglage par défaut avec la molette BRIGHT en position MAX à une température ambiante de 25 °C (70 °F))
Environ 3 200 K
(Lorsque le filtre de conversion de couleur fourni est rattaché à la lampe vidéo)
(Réglage par défaut avec la molette BRIGHT en position MAX à une température ambiante de 25 °C (70 °F))

Température de fonctionnement
0 °C à 40 °C (35 °F à 104 °F)

Température d'entreposage
-20 °C à +60 °C (-4 °F à +140 °F)

Dimensions
Environ 108 mm × 150 mm × 129 mm (l/h/p) (4 3/8 po. × 6 po. × 5 1/8 po.)

Poids (Lampe vidéo seulement)
Environ 450 g (15,9 oz)

Articles inclus
Lampe vidéo à batterie (1)
Adaptateur de connecteur LIGHT (Partie cordon environ 25 cm (10 po.)) (1)
Filtre de conversion de couleur (1)
Jeu de documents imprimés

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.
« InfoLITHIUM » est une marque commerciale de Sony Corporation.

中文（简）

操作本装置之前，请仔细阅读以下说明并妥善保管，以备今后参考。

警告

为减少发生火灾或触电的危险，请勿让本装置淋雨或受潮。

小心

请只使用指定类型的电池进行更换。否则，可能造成着火或人员受伤。

切勿将电池暴露在阳光、火或类似的极热环境下。

特性

- 与聚光镜配合使用时，此摄像灯的中心亮度大约可达 1800 勒克斯（当摄像灯与拍摄对象之间的距离为 1 m 时）。
- HVL-LBPB 是一款以高亮度白光 LED 作为其镜头光源的摄像灯。
- 此摄像灯具有两种色温设定：5500 K 或 3200 K（使用附带的色温转换滤光镜时）。
- 白光 LED 的使用寿命约长达 10000 小时，具有较强的耐冲击性和抗腐蚀性，几乎无需任何维护。
- 附带的 LIGHT 连接器适配器允许由带有 LIGHT 连接器的摄像机为摄像灯供电。在使用 LIGHT 连接器适配器的情况下，您无需为摄像灯安装电池。（LIGHT 连接器适配器只能用于兼容摄像机。有关 LIGHT 连接器的详细信息，请参阅摄像机的使用说明书）。

使用须知

- 本摄像灯并未采用防尘、防溅水或防水设计。
- 本摄像灯属精密设备。切勿掉落、敲打或受到过度震动。
- 请勿通过智能配件热靴将摄像灯安装到摄像机上。否则可能会损坏配件热靴。
- 摄像灯的操作温度介于 0 ℃ 到 40 ℃ 之间。
- 请勿堵塞通风孔。否则会造成内部温度升高，从而引起火灾或事故，并可导致摄像灯故障。
- 请勿在开启状态下近距离直视白光 LED。否则可能会损伤眼睛。
- 为防止摄像机摔落，携带时请勿抓握摄像机上安装的摄像灯。
- LIGHT 连接器适配器是专为摄像灯设计的。将其用于其他设备可导致设备故障。
- 请勿将摄像灯放在易燃或易挥发的溶剂（如酒精或汽油）旁边。否则可导致起火或冒烟。
- 不要让任何液体进入摄像灯内或让易燃或金属物体掉落到摄像机上。如果发生上述情况后继续使用摄像机，则可能导致火灾或摄像灯故障。
- 请勿在下列场所中使用或存放摄像机。否则可导致摄像机发生故障或变形:
  —温度较高的地方，如夏天封闭的汽车内或强烈的阳光下
  —直射的阳光下或靠近加热器的地方
  —振动过大的地方
- 在低温或高温条件下使用摄像灯时，电池使用寿命会变短，因此照明时间也相应缩短。请注意，随着温度的改变，电池电量也会相应减少。在不超过 10 ℃ 的条件下使用摄像灯时，建议您通过以下操作来延长电池使用寿命。
  —将电池放到口袋中保温，并在使用时再将电池安装到摄像灯上。
  如果是将电热片与电池一起放到口袋中，小心不要让电热片与电池直接接触。
  —请在室温条件下（10 ℃ 到 30 ℃）为电池充电。
- 使用完摄像灯后，请务必将摄像灯的 POWER 开关设为“OFF”。
- 不使用摄像灯或使用完毕时，请务必将电池从摄像灯中取出。
- 使用完毕后，请勿立即将摄像灯放入包中。产生的热量可能会损坏白光 LED。将摄像灯放入包中时，请务必将摄像灯的电源设为“OFF”，并确保其充分冷却。
- 请勿将聚光镜置于直射的阳光下。如果在闭合的情况下将其置于直射的阳光下，可能会导致摄像灯故障。如果是打开后将聚光镜置于直射的阳光下，则其焦点位置可能会引起火灾。
- 在摄像机上安装摄像灯的情况下进行拍摄时，可能会对录音略有影响。
- 请勿对摄像机或其他装置上安装的摄像灯施加过大的力量或冲击。

A 部件识别

HVL-LBPB 摄像灯

1 柔光罩
2 防护板
3 聚光镜
4 通风孔
5 TEMP 指示灯
6 剩余电量指示灯
7 POWER 开关
8 BRIGHT 转盘
9 照射角调节螺丝（硬币螺丝）
10 摄像灯安装旋钮
11 电池检查按钮
12 热靴附件
13 螺丝
14 电池释放按钮
15 电池卡座
16 色温转换滤光镜

LIGHT 连接器适配器
17 摄像灯侧附件
18 插头

指示灯

剩余电量指示灯

剩余电量指示灯可显示直接安装于摄像灯上的电池的大致剩余电量。将摄像灯的 POWER 开关设为“ON”或按下电池检查按钮后，大约可显示 8 秒钟的剩余电量信息。

（亮 4 格）	约 75% 或以上
（亮 3 格）	约 50% - 75%
（亮 2 格）	约 25% - 50%
（亮 1 格）	约 5% - 25%
（1 格闪烁）	约 5% 或以下

- **当电池剩余电量不足时**
  在电池电能耗尽之前约 3 分钟，剩余电量指示灯将变绿并开始缓慢闪烁。
  电池所能支撑的时间因使用的频率或操作温度而异。该指示灯只能作为粗略估算之用。此时建议您立即更换电池。
- **当电池电能耗尽时**
  当电池电能耗尽时，摄像灯将关闭，而剩余电量指示灯则变绿并开始快速闪烁约 10 秒钟。
  请将摄像灯的 POWER 开关设为“OFF”并为电池充电，或者更换一块完全充电的电池。
- **当发生电池通讯错误时**
  如果安装的不是 Sony 的“InfoLITHIUM”电池 L 系列，就会发生电池通讯错误。完成电池剩余电量检查后，剩余电量指示灯会闪烁约 10 秒钟。

注意
- 如果摄像灯上安装了 LIGHT 连接器适配器，或者安装的不是 Sony 的“InfoLITHIUM”电池 L 系列 (NP-F970/F770)，则无法正确显示电池剩余电量。
- 当使用因反复充放电而导致剩余使用时间变得很短的电池时，所指示的剩余电量可能无法反映电池的实际剩余电量。
- 不能通过摄像灯为电池充电。

TEMP 指示灯

当摄像灯由于某种原因变得过热时，电源将会关闭，而 TEMP 指示灯则变红并快速闪烁约 60 秒钟。如果操作温度较高，请在低温条件下使用摄像灯。
如果 TEMP 指示灯继续闪烁，请停止使用摄像灯并向 Sony 经销商咨询。

准备

将摄像灯安装至摄像机（参见图 B）

将摄像灯安装到配件热靴上

在将摄像灯安装到配件热靴上之前，请检查摄像灯的热靴附件是否有损坏等情况。
1 **朝 RELEASE 方向松开摄像灯上的摄像灯安装旋钮，让螺丝缩回。**
2 **将摄像灯安装到摄像机的配件热靴上。**
3 **朝 LOCK 方向拧紧摄像灯上的摄像灯安装旋钮，将摄像机固定好。**

将摄像灯安装到凹面螺丝上

1 **朝 LOCK 方向转动摄像灯上的摄像灯安装旋钮，让螺丝伸出。**
2 **将摄像灯上的螺丝与摄像机上的凹面螺丝对齐。**
3 **朝 LOCK 方向拧紧摄像灯上的摄像灯安装旋钮，将摄像机固定好。**

将摄像灯安装到三脚架或手柄的凹面螺丝上

1 **朝 RELEASE 方向尽量松开摄像灯上的摄像灯安装旋钮，让螺丝缩回。**
2 **将凹面螺丝插入摄像灯中并顺时针转动摄像灯。**

注意
- 取决于摄像灯的使用频率，热靴附件有时会出现划伤或开裂的情况。这样可造成摄像灯损坏或摔落。
  如果发现上面有划伤或裂纹，请立即更换新的热靴附件。
  （更换件：热靴架 S 组件（编号：X-2177-208-2））
  此附件可以从 Sony 经销商处得到。
- 请勿通过智能配件热靴将摄像灯安装到摄像机上。否则可能会损坏热靴附件。

连接摄像灯电源

连接之前，请检查摄像灯的 POWER 开关是否设为“OFF”。
如下所示，摄像灯的电源有两种。

为摄像灯安装电池（参见图 C）

注意
- 请使用充好电的电池。
- 请务必使用 Sony 的“InfoLITHIUM”电池。建议使用 NP-F970/F770。
- 不能使用 Sony 的“InfoLITHIUM”电池 NP-F570/F550/F530/F330 系列。

使用 LIGHT 连接器适配器（参见图 D）

LIGHT 连接器适配器只能用于兼容的 Sony 摄像机。
将 LIGHT 连接器适配器连接至摄像灯与摄像机上时，请务必先关闭摄像机电源。

将 LIGHT 连接器适配器安装到摄像灯的电池卡座上并将插头连接到摄像机上。
- 连接前，请检查一下摄像机上 LIGHT 连接器的方向和形状（图 **D-a**）以及 LIGHT 连接器适配器的插头（图 **D-b**）。
- 有关 LIGHT 连接器的详细信息，请参阅摄像机的使用说明书。
- 不使用摄像灯时，请将插头从摄像机上断开。即使在不使用摄像灯的情况下，电池也会放电。

调节摄像灯的角度（参见图 E）

1 **用一枚硬币松开照射角调节螺丝（硬币螺丝）并调节摄像灯的角度。**
2 **拧紧照射角调节螺丝（硬币螺丝），固定好摄像灯的角度。**

注意
在调节摄像灯角度的过程中，松开照射角调节螺丝（硬币螺丝）时应牢牢握紧摄像灯机身。

打开防护板、聚光镜和柔光罩

如图 A 所示，以大约 45 度角打开防护板、聚光镜和柔光罩。

注意
- 45 度或以上的角提供了一个缓冲区间，可以防止设备受损。小心不要强行以 45 度以上的角打开防护板、聚光镜和柔光罩。否则可能会对这些设备造成损坏。
- 存放摄像灯时，请先将聚光镜收好，然后依次收好柔光罩和防护板。

安装色温转换滤光镜（参见图 F）

必要时，可以安装色温转换滤光镜。
让黑色面朝上，安装色温转换滤光镜。将色温转换滤光镜左右两侧的凸出部分插入面板与摄像灯边框之间的空当中。
按照相反过程操作可卸下色温转换滤光镜。

注意
- 安装色温转换滤光镜时，请勿施加过大的力量。
- 安装或卸下色温转换滤光镜时，请务必关闭摄像灯电源。将色温转换滤光镜安装至摄像灯之前，请将摄像灯上的灰尘和污垢擦拭干净。

使用摄像灯

开启摄像灯

按下 POWER 开关上的绿色按钮，同时将 POWER 开关滑至“ON”位置。
剩余电量指示灯将同步点亮，同时计算电池剩余电量。
在摄像灯上使用 Sony 的“InfoLITHIUM”电池时，将 POWER 开关设为“ON”后，白光 LED 将亮起约 1.5 秒钟，大约 8 秒后便会显示电池剩余电量。
在使用 LIGHT 连接器适配器的情况下，白光 LED 将在大约 1.5 秒钟后点亮。

注意
- 使用 LIGHT 连接器适配器时，如果将摄像机的 LIGHT 开关设为“AUTO”，摄像灯就会与摄像机的拍摄操作同步打开或关闭。即使将摄像灯的 POWER 开关设为“ON”，在摄像机开始拍摄之前，摄像灯也不会亮起。

调节摄像灯的亮度

摄像灯的亮度可利用摄像灯上的 BRIGHT 转盘在 100% (MAX) 与 10% (MIN) 之间调节。

使用聚光镜

使用聚光镜可以将摄像灯的亮度提高约 5 倍。
照射角也相应减小。

使用柔光罩

使用柔光罩可以降低光照强度，同时让光线变得更加柔和。

使用色温转换滤光镜

利用附带的色温转换滤光镜可以将色温变为约 3200 K
（滤光镜尺寸为 46 mm × 67 mm）。

更换滤光镜（参见图 G）

1 将手指放到色温转换滤光镜背面透明膜片 (a) 的切口部位。慢慢拉出膜片。
2 插入新滤光镜。将手指放到任意孔 (b) 上，把滤光镜慢慢拉入。

注意
- 使用 LIGHT 连接器适配器时，如果将摄像灯的 POWER 开关设为“ON”并将兼容摄像机的 LIGHT 开关设为“AUTO”，则在开始拍摄约 1.5 秒钟后，摄像灯将亮起。为了防止这种时间延后现象，请将摄像机的 LIGHT 开关设为“MAN”，并在开始拍摄前打开摄像灯。请同时参阅摄像机的使用说明书。
- 使用摄像灯拍摄时，如果拍摄对象离摄像机太近，可能会出现多个拍摄对象的影子相互重叠的现象（重影）。
- 取决于 BRIGHT 转盘的位置及白光 LED 的温度，色温会略有不同。请在拍摄前手动调节摄像机的白平衡。
- 使用色温转换滤光镜时，亮度会略有降低，照射角也相应变小。
- 色温转换滤光镜中插入的滤光镜的属性因操作时间及操作条件而异。建议您检查一下拍摄的图像并在必要时更换滤光镜。请将未用的滤光镜存放在凉爽背光的地方（本装置附带了一个备用滤光镜）。

从摄像机上卸下摄像灯

1 **将摄像灯的 POWER 开关设为“OFF”。**
使用 LIGHT 连接器适配器时，请将插头从摄像机上断开。
2 **在滑动电池释放按钮的同时，将电池或 LIGHT 连接器适配器向上拉。**
3 **朝 RELEASE 方向松开摄像灯上的摄像灯安装旋钮。**
如果摄像灯安装在凹面螺丝上，则松开凹面螺丝。
4 **从摄像机配件热靴、三脚架等的上面将摄像灯卸下。**

保养

请用干的软布清洁摄像灯。如果摄像灯被弄脏，请用略微沾有柔性洗涤剂的布进行擦拭，然后再用干的软布擦拭干净。擦拭时请勿使用任何类型的溶剂，如酒精、汽油或稀释剂。否则可导致摄像灯表面受损。

规格

电源
- Sony 的“InfoLITHIUM”电池 L 系列（NP-F970/F770）DC 7.2 V
- Sony 摄像机 LIGHT 连接器输出 (DC 12 V)（使用附带的 LIGHT 连接器适配器时）

功耗
约 18 W
（使用 Sony 的“InfoLITHIUM”电池 L 系列时）
约 20 W
（使用 LIGHT 连接器适配器时）

最大照度
约 1800 勒克斯 (1 m)（使用聚光镜时）

照射角
约 65 度
（未使用聚光镜时）

连续照明时间
约 2 小时 40 分钟
（在 25 ℃ 环境温度下，使用完全充电的 NP-F970 且 BRIGHT 转盘设为 MAX 时）
约 1 小时 45 分钟
（在 25 ℃ 环境温度下，使用完全充电的 NP-F770 且 BRIGHT 转盘设为 MAX 时）

照明距离
使用聚光镜时
1 m：约 1800 勒克斯
3 m：约 200 勒克斯
5 m：约 72 勒克斯
8 m：约 28 勒克斯
10 m：约 18 勒克斯

色温
约 5500 K
（25 ℃ 环境温度下，BRIGHT 转盘设为 MAX 时的默认设定）
约 3200 K
（摄像灯上安装了附带的色温转换滤光镜时）
（25 ℃ 环境温度下，BRIGHT 转盘设为 MAX 时的默认设定）

操作温度
0 ℃ - 40 ℃

存放温度
-20 ℃ - +60 ℃

尺寸
约 108 mm × 约 150 mm × 约 129 mm（宽/高/长）

质量（仅摄像灯）
约 450 g

所含物品
电池摄像灯 (1)
LIGHT 连接器适配器（连接线部分约 25 cm）(1)
色温转换滤光镜 (1)
成套印刷文件

设计或规格如有变动，恕不另行通知。
“InfoLITHIUM”是 Sony Corporation 的商标。



产品中有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
内置线路板	×	○	○	○	○	○
外壳	×	○	○	○	○	○
光学块	×	○	○	○	○	○
附件	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

索尼公司
出版日期：2010 年 8 月